

あんたがたどこさ変奏曲 荒城の月 浜辺の歌 Scotland the brave 他

2021 年 5 月 24 日 (月) 13:30 開演 (13:00 開場) - 般自由席 ¥ 2,000

当面の間、感染対策のため座席定員を減らしての開催となります。(チャリティシートの設定はございません) 中止・振替等が発生する場合がございます。最新の情報は宗次ホールホームページまたはお電話でお問い合わせください。

チケットのお求めは **3月14**日(日) **10時より販売開始**

プレイガイド

●宗次ホールチケットセンターにて下記の方法で受付

① TEL:052 (265) 1718 ② インターネット予約-







ケルティック・ハープ

温かな優しい音色が特徴的な小型のハープです。アイルランド、スコットランド、ウェールズ、ブルターニュ地方で古くから演奏されてきた伝統的な楽器です。アイルランドでは、国の象徴として紋章やコインにハープが描かれています。

近年、世界的にもケルティックハープの 演奏者 (Harper) が増えており、ヨーロッパ、 アメリカ各地で ハープの集いやフェスティ バルが開催されています。

松岡 莉子(まつおか りこ)ケルティックハープ

英国王立スコットランド音楽院 (Royal Conservatoire of Scotland) スコットランド伝統音楽学 科修士課程を 2019 年に修了。

2018年、英国スコットランドで開かれたケルティックハープのコンクール"The Princess Margaret of the Isles Memorial Prize for Senior Clarsach" にて優勝。スコットランドで毎年行われるケルト音楽の祭典「ケルティックコネクション」や世界最大規模のハープの祭典「エディンバラハープフェスティバル」へ出演するなど、スコットランド現地においても活躍を続けている。





ハーディングフェーレ

ノルウェー発祥の北欧民族楽器のひとつ。ヴァイオリンよりやや小ぶりで、駒の下に張られた共鳴弦が哀愁を帯びた独特の音色を生み出します。側面や縁取りなどに真珠貝の象嵌細工で華麗な装飾が施されたものが多く、昔からの民族楽器にもかかわらず、若手の音楽家からも愛され、様々な音楽現場で耳にする、モダンな楽器だ。

野間 友貴 (のま ゆうき) フィドル&ハーディングフェーレ

2010年名古屋音楽大学、2016年スウェーデンMalungsfolkhögskola 伝統音楽科卒業。2006年「ドレクスキップ」結成より活動。カウスティネン、コロー、ウメフォークなど北欧各国の音楽フェスティバルからフジロックフェスティバルなど、国内外で出演。近年はノルウェーとの国境近い西ダーラナへのフィールドワークを重ねている。日本へ北欧フィドル文化の醍醐味を伝える一方、北欧へは伝統音楽の可能性を提示し続ける。

グレート・ハイランド・バグパイプ

キルトをまとった男性が高らかに吹き鳴らすあの独特の音色は、耳にしただけで「あ、スコットランド」と連想します。音楽としては、18世紀中頃まで技巧を駆使した変奏曲が、戦意高揚と祭礼のために独奏されましたが、現在、スコットランドでは祭礼をはじめとする様々な機会に演奏されています。

杉山 憲司 (すぎやまけんじ) バグパイプ

スコットランドの伝統楽器「グレート・ハイランド・バグパイプ」を演奏。 西日本で数々の催しに参加。日本舞踊やアートなどとのコラボレーションも行い、ジャンルを超えて活動している。

日本スコットランド交流協会、山陰日本アイルランド協会、日本ケルト協会の各会員でもある。 大阪生まれ、現在は岐阜県高山市在住。



【お客様へのお願い】

発熱など、体調に不安のある方はご来場をお控えください。

来館時、お手洗い使用後の手洗いや消毒にご協力ください。

館内ではマスクを着用してください。

開場時、お手洗い利用時の整列では間を空けてお並びください。

スタッフの勤務方法と共に、この他にも各感染予防対策を実施いたします。 詳しくは、ホームページwww://munetsuguhall.comをご覧ください。

■交通アクセス 地下鉄栄駅①番出口より東へ徒歩4分







名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008 TEL:052 (265) 1715 FAX:052 (265) 1716 E-mail info@munetsuguhall.com URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター 営業時間:10:00~16:00 不定休